

**流通ビジネスメッセージ標準<sup>®</sup>**

**運用ガイドライン（生鮮業界編）第1.3.1版**

**2013年 4月**

No	タイトル	変更事項
1	第1. 3. 1版(2013年 4月)作成	CR[2013-04-007] : 「 I . 食肉編 4. 食肉個体識別番号伝達について」の内容差し換え

# 目次

## I. 食肉編

- 1. 商品コード解説
  - (1) 商品コードの標準化の方向性 ..... 4
  - (2) 商品コードと商品属性追加項目 ..... 5
- 2. 商材別事例 項目セットの方法
  - (1) 食肉のメッセージ検討における発注形態の組合せパターン ..... 7
  - (2) 入数、発注数量(発注単位数)のセットについて ..... 18
- 3. チェーンストア伝票の記載例 ..... 20
  - (1) 不定貫商品(パック)【単価登録単位 1 K g】 ..... 22
  - (2) 不定貫商品(パック)【単価登録単位 1 0 0 g】 ..... 26
  - (3) 不定貫商品(部分肉)【単価登録単位 1 K g】 ..... 30
  - (4) 定貫商品 ..... 34
- 4. 食肉個体識別番号伝達について ..... 38

## II. 青果編

- 1. 商品コード解説
  - (1) 商品コードの標準化の方向性 ..... 44
  - (2) 商品コードと商品属性追加項目 ..... 45
  - (3) 青果標準商品コードの検討方針 ..... 47
- 2. 商材別事例 項目セットの方法
  - (1) 標準商品コードを活用したデータセット例 ..... 48
  - (2) 発注～出荷～受領の流れ
    - 1) 定貫商品 ..... 49
    - 2) 不定貫商品 ..... 50
  - (3) 入数、発注数量(発注単位数)のデータセットについて ..... 51

## III. 水産編

- 1. 商品コード解説
    - (1) 商品コードの標準化の方向性 ..... 54
    - (2) 商品コードと商品属性追加項目 ..... 55
    - (3) 水産物商品コードの検討方針 ..... 57
  - 2. 商材別事例 項目セットの方法
    - (1) 発注～出荷～受領の流れ
      - 1) 定貫商品 ..... 58
      - 2) 不定貫商品 ..... 59
    - (2) 入数、発注数量(発注単位数)のデータセットについて ..... 60
-

# I . 食肉編

---

# 1. 商品コード解説

## (1)商品コードの標準化の方向性

食肉(部分肉)標準コード化に見るインストアコードから共通商品コードへの流れ

- 畜種＋部位で標準コード化した。
- この規格に外れる属性を商品属性として外出しし、商品特定や説明ができるようにした。

	共通商品コード ←		個別商品コード →
メッセージ項目名	①ソースマーキング商品	②共通商品(汎用品) 畜種＋部位	③店舗独自規格商品
商品コード(GTIN)	0＋標準JANコード	—	—
商品コード(発注用)	0＋標準JANコード	食肉標準品名コード 4922＋8＋標準品名＋00＋C/D	インストアコード (2012345・・・、12345)
商品コード(取引先)	4922＋8＋標準品名＋00＋C/D		
商品コード区分	006:GTIN－14	005:EAN/UCC－13	999:自社コード
商品属性	必要に応じて追加指定		
備考	・標準JANでソースマーキングされた産地パック商品(ブランド品)やPB商品	・畜種＋部位コードの組合わせで付番	・②③以外の店舗の個別性が高い商品や販売規格などに使用

# 1. 商品コード解説

## (2) 商品コードと商品属性追加項目

現行、小売はインスタコードで管理。 商品名に規格や属性、産地等を含めている。

インスタコードから標準商品コードへ

標準商品コード内に商品名と通常小売で使用する規格を取り込む

標準商品コードに入らない属性は外に出して必要に応じて指定する。

### 【枝肉、部分肉のコード体系】

4922 + 8 + 標準品名コード + 00(固定) + C/D  
(生鮮フラグ) (部分肉) ①

### 【精肉のコード体系】

4922 + 7 + 標準品名コード + 00(固定) + C/D  
(生鮮フラグ) (精肉) ①

① 標準品名コード(5桁)

・食肉の蓄種、部位、精肉を表すコード

# 1. 商品コード解説

## (2) 商品コードと商品属性追加項目

### 小売 発注(現行～過渡期)

商品コード=12345 商品名 = 北海道和牛サーロイン
商品コード=12346、 商品名 =鹿児島黒毛和種肩ロース 焼肉用

必要に応じて属性を指定

### 小売 発注(標準品名コード使用時)

商品コード=4922815200009 (和牛サーロインを表す) 商品名 =和牛サーロイン 産地 =001:北海道
商品コード=4922813200001 (和牛肩ロースを表す) 商品名 =和牛肩ロース 産地 =046:鹿児島県 品種 =11:黒毛和種 用途 =焼肉用

### もしくはブランド化

商品コード=4912345678904 (JAN) 商品名 =鹿児島□△牧場和牛肩ロースブロック
-----------------------------------------------------

### 取引先 出荷




出荷時に産地等の情報が確定、  
付加される。  
その他の商品属性も必要に応じて追加

発注用と販売用商品名は別管理

## 2. 商材別事例 項目セットの方法

### (1)食肉のメッセージ検討における発注形態の組合せパターン

食肉の場合、畜種、商品形態により、取引方法が異なるため、それぞれのパターンで実現性を確認した。

畜種		牛		豚		鶏	
		国産	輸入	国産	輸入	国産	輸入
<b>1 ブロック肉</b> 	1. 単品:不定貫	P 1-1	P 1-4	P 1-1	P 1-1		
	2. 規格セット:不定貫	P 1-2					
	3. セット:不定貫	P 1-3		P 1-3			
	4. 単品:定貫					P 1-5	P 1-5
<b>2 スライス肉</b> 	1. 単品:不定貫	P 2-1	P 2-1	P 2-1	P 2-1	P 2-1	P 2-1
	2. 単品:定貫	P 2-2	P 2-2	P 2-2	P 2-2	P 2-2	P 2-2
<b>3 ミンチ肉</b> 	1. 単品:不定貫	P 3-1	P 3-1	P 3-1	P 3-1	P 3-1	P 3-1
	2. 単品:定貫	P 3-2	P 3-2	P 3-2	P 3-2	P 3-2	P 3-2
<b>その他</b>	1. 単品:不定貫						
	2. 単品:定貫						

①チルド、フローズン：属性情報であるが、商品コードが異なる（商品コードで分類）。

②スライス肉とミンチ肉：同じ商品分類であるが、定貫・不定貫で発注形態を分けた分類が必要。



## 2. 商材別事例 項目セットの方法

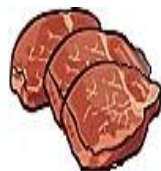
(参考)部分肉の入数と重量

豚部分肉の入数とケース重量		
部 位 名 称	入 数 (本)	ケース重量 (k g)
ウデ	2	12
カタロース	4	9
ロース	4	18
バラ	4	16
モモ	2	18
ヒレ	10	5

牛部分肉の入数とケース重量（半丸）			
部 位 名 称	レギュラー 入数	SPカット (本)	ケース重量 (k g)
ウデ	1	3～4	20
カタロース	1	3～4	27
ブリスケット	1	1～2	15
三角バラ	1	1～2	6
リブロース	1	2～3	9
サーロイン	1	3～4	10
ヒレ	1	2～3	6
ソトバラ	1	3～4	20
ウチバラ	1	3～4	19
ウチモモ	1	2～3	11
シンタマ	1	2～3	10
ソトモモ	1	2～3	12
ランプ	1	2	10
トモズネ	1	1	3
マエスネ	1	1～2	5

## 2. 商材別事例 項目セットの方法

### P1-1. 和牛ブロック【単品：パーツ発注】の例（不定貫）



4922813200001

和牛肩ロース（約27kg）

前提①：和牛肩ロースブロック(約27kg)を2個(約54kg)発注した場合の発注データ

前提②：実際の納品が合計重量が54.2kgだった場合の納品データ

前提③：入荷検品時の合計重量が54.2kgだった場合の受領データ

#### [発注]

(推定)

発注商品コード	商品名	規格	原単価	売単価	発注単位	発注単位コード	発注数量 (発注単位数)	発注数量 (バラ)	原価金額	売価金額	単価登録単位	商品重量	入数	発注荷姿	発注重量
4922813200001	和牛肩ロース	27kg	3,000	3,500	1	個	2	2	162,000	189,000	1kg	27.0kg	3	ケース	54.0

#### [出荷]

(再計算)

(確定)

発注商品コード	商品名	原単価	売単価	発注単位	発注単位コード	発注数量 (発注単位数)	発注数量 (バラ)	出荷数量 (発注単位数)	出荷数量 (バラ)	欠品数量 (発注単位数)	欠品数量 (バラ)	原価金額	売価金額	発注重量	出荷重量
4922813200001	和牛肩ロース	3,000	3,500	1	個	2	2	2	2	0	0	162,600	189,700	54.0	54.2

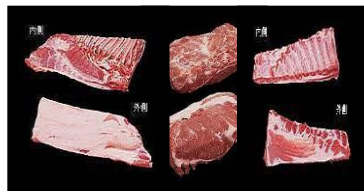
#### [受領]

(確定)

発注商品コード	商品名	原単価	売単価	発注単位	発注単位コード	発注数量 (発注単位数)	発注数量 (バラ)	出荷数量 (発注単位数)	出荷数量 (バラ)	受領数量 (発注単位数)	受領数量 (バラ)	原価金額	売価金額	発注重量	出荷重量	受領重量
4922813200001	和牛肩ロース	3,000	3,500	1	個	2	2	2	2	2	2	162,600	189,700	54.0	54.2	54.2

## 2. 商材別事例 項目セットの方法

### P1-2. 和牛ブロック【規格セット発注】の例（不定貫）



4922822010004

和牛1/4セット

前提①: 和牛1/4セット(約75kg)を発注した場合の発注データ  
 前提②: 実際の納品が合計重量が75.5kgだった場合の納品データ  
 前提③: 入荷検品時の合計重量が75.5kgだった場合の受領データ

[発注]

(推定)

発注商品コード	商品名	規格	原単価	売単価	発注単位	発注単位コード	発注数量 (発注単位数)	発注数量 (バラ)	原価金額	売価金額	単価登録単位	商品重量	入数	発注荷姿	発注重量
4922822010004	和牛1/4セット	75kg	2,500	3,000	1	個	1	1	187,500	225,000	1kg	75.0kg	4	ケース	75.0

[出荷]

(再計算)

(確定)

発注商品コード	商品名	原単価	売単価	発注単位	発注単位コード	発注数量 (発注単位数)	発注数量 (バラ)	出荷数量 (発注単位数)	出荷数量 (バラ)	欠品数量 (発注単位数)	欠品数量 (バラ)	原価金額	売価金額	発注重量	出荷重量
4922822010004	和牛1/4セット	2,500	3,000	1	個	1	1	1	1	0	0	188,750	226,500	75.0	75.5

[受領]

(確定)

発注商品コード	商品名	原単価	売単価	発注単位	発注単位コード	発注数量 (発注単位数)	発注数量 (バラ)	出荷数量 (発注単位数)	出荷数量 (バラ)	受領数量 (発注単位数)	受領数量 (バラ)	原価金額	売価金額	発注重量	出荷重量	受領重量
4922822010004	和牛1/4セット	2,500	3,000	1	個	1	1	1	1	0	0	188,750	226,500	75.0	75.5	75.5

#### 【規格セットについて】

- ①発注形態は、単品: パーツ発注と同じ。
- ②ケースラベルの商品名は、「和牛1/4セット」。この場合の入数は、1商品名称に対し「4ケース」
- ③ケース内は、ピースの商品ラベルは、実部位名称。

## 2. 商材別事例 項目セットの方法

### P1-3. 国産牛ブロック【セット発注】の例（不定貫）



(商談発注)

4922821010005

国産牛セット(不定貫)

[発注]

国産牛セット: 毎週木曜日3頭納品



前提①: 発注は、紙ベース(メール、FAX)

前提②: 納品は、部位別の納品データ

前提③: 入荷検品時の部位別の受領データ

[出荷]

発注商品コード	商品名	原単価	売単価	発注単位	発注単位コード	発注数量(発注単位数)	発注数量(バラ)	出荷数量(発注単位数)	出荷数量(バラ)	欠品数量(発注単位数)	欠品数量(バラ)	原価金額	売価金額	発注重量	出荷重量
492282340002	国産牛ウデ	1000	1100	2	個	3	6	3	6	0	0	124,600	137,060	120.0	124.6
492282320008	国産牛肩ロース	1500	1600	2	個	3	6	3	6	0	0	255,300	272,320	162.0	170.2
...	...														

【発注・出荷データについて】

①1頭単位での商談ベースでの発注、納品先は、委託PC会社もある。

②1頭当たり16ケースあり、出荷(納品)データが送られる。

③出荷(納品)データは、部位別に作成される。

[受領]

発注商品コード	商品名	原単価	売単価	発注単位	発注単位コード	発注数量(発注単位数)	発注数量(バラ)	出荷数量(発注単位数)	出荷数量(バラ)	受領数量(発注単位数)	受領数量(バラ)	原価金額	売価金額	発注重量	出荷重量	受領重量
492282340002	国産牛ウデ	1000	1100	2	個	3	6	3	6	3	6	124,600	137,060	120.0	124.6	124.6
492282320008	国産牛肩ロース	1500	1600	2	個	3	6	3	6	3	6	255,300	272,320	162.0	170.2	170.2
...	...															

## 2. 商材別事例 項目セットの方法

### P1-4. 輸入牛ブロック【単品：パーツ発注】の例（不定貴）



4922835120004

輸入牛キューブロール(約16kg)

前提①: 輸入牛キューブロールブロック(約16kg)を2個発注した場合の発注データ

前提②: 実際の納品が合計重量が32.2kgだった場合の納品データ

前提③: 入荷検品時の合計重量が32.2kgだった場合の受領データ

#### [発注]

(推定)

発注商品コード	商品名	規格	原単価	売単価	発注単位	発注単位コード	発注数量(発注単位数)	発注数量(バラ)	原価金額	売価金額	単価登録単位	商品重量	入数	発注荷姿	発注重量
4922835120004	輸入牛キューブロール	16kg	2,000	2,500	1	個	2	2	64,000	80,000	1kg	16.0kg	4	ケース	32.0

#### [出荷]

(再計算)

(確定)

発注商品コード	商品名	原単価	売単価	発注単位	発注単位コード	発注数量(発注単位数)	発注数量(バラ)	出荷数量(発注単位数)	出荷数量(バラ)	欠品数量(発注単位数)	欠品数量(バラ)	原価金額	売価金額	発注重量	出荷重量
4922835120004	輸入牛キューブロール	2,000	2,500	1	個	2	2	2	2	0	0	64,400	80,500	32.0	32.2

#### [受領]

(確定)

発注商品コード	商品名	原単価	売単価	発注単位	発注単位コード	発注数量(発注単位数)	発注数量(バラ)	出荷数量(発注単位数)	出荷数量(バラ)	受領数量(発注単位数)	受領数量(バラ)	原価金額	売価金額	発注重量	出荷重量	受領重量
4922835120004	輸入牛キューブロール	2,000	2,500	1	個	2	2	2	2	2	2	64,400	80,500	32.0	32.2	32.2

## 2. 商材別事例 項目セットの方法

### P1-5. 国産鶏【単品発注】の例（定貫）



4922866200003

国産鶏肉もも(2kg×6)

前提①: 国産鶏肉(2kg×6)を2個発注した場合の発注データ

前提②: 実際の納品が国産鶏肉(2kg×6)2個だった場合の納品データ

前提③: 入荷検品時の国産鶏肉(2kg×6)2個だった場合の受領データ

#### [発注]

(推定)

発注商品コード	商品名	不定貫区分	規格	原単価	売単価	発注単位	発注単位コード	発注数量 (発注単位数)	発注数量 (バラ)	原価金額	売価金額	単価登録単位	商品重量	入数	発注荷姿	発注重量
492286620003	国産鶏肉もも	00	2kg×6	12,000	14,400	1	個	2	2	24,000	28,800			6	ケース	

定貫商品(不定貫区分=00)の場合は、セットしない。

#### [出荷]

(再計算)

(確定)

発注商品コード	商品名	原単価	売単価	発注単位	発注単位コード	発注数量 (発注単位数)	発注数量 (バラ)	出荷数量 (発注単位数)	出荷数量 (バラ)	欠品数量 (発注単位数)	欠品数量 (バラ)	原価金額	売価金額	発注重量	出荷重量
492286620003	国産鶏肉もも	12,000	14,400	1	個	2	2	2	2	0	0	24,000	28,800		

#### [受領]

(確定)

発注商品コード	商品名	原単価	売単価	発注単位	発注単位コード	発注数量 (発注単位数)	発注数量 (バラ)	出荷数量 (発注単位数)	出荷数量 (バラ)	受領数量 (発注単位数)	受領数量 (バラ)	原価金額	売価金額	発注重量	出荷重量	受領重量
492286620003	国産鶏肉もも	12,000	14,400	1	個	2	2	2	2	2	2	24,000	28,800			

定貫商品(不定貫区分=00)の場合は、セットしない。

## 2. 商材別事例 項目セットの方法

### P2-1. 国産牛スライスの例（不定貫）



（パック発注）

パック区分=01

12345

国産牛ローススライス(約200g)

#### 【発注形態について】

- ①納入者は、発注データをもとにスライス肉を加工計量する。
- ②発注データを計量器へ連動し、計量指図データとする。

前提①：約200g入国産牛ローススライスを10パック(約2kg)発注した場合の発注データ

前提②：実際の納品が合計重量が2.123kgだった場合の納品データ

前提③：入荷検品時の合計重量が2.123kgだった場合の受領データ

#### [発注]

(推定)

発注商品コード	商品名	規格	原単価	売単価	発注単位	発注単位コード	発注数量(発注単位数)	発注数量(バラ)	原価金額	売価金額	単価登録単位	商品重量	入数	発注荷姿	発注重量
12345	国産牛ローススライス(約200g)	パック	1,000	1,200	1	個	10	10	2,000	2,400	1kg	0.200kg	10	クレート	2.00

#### [出荷]

(再計算)

(確定)

発注商品コード	商品名	原単価	売単価	発注単位	発注単位コード	発注数量(発注単位数)	発注数量(バラ)	出荷数量(発注単位数)	出荷数量(バラ)	欠品数量(発注単位数)	欠品数量(バラ)	原価金額	売価金額	発注重量	出荷重量
12345	国産牛ローススライス(約200g)	1,000	1,200	1	個	10	10	10	10	0	0	2,123	2,548	2.00	2.123

#### [受領]

(確定)

発注商品コード	商品名	原単価	売単価	発注単位	発注単位コード	発注数量(発注単位数)	発注数量(バラ)	出荷数量(発注単位数)	出荷数量(バラ)	受領数量(発注単位数)	受領数量(バラ)	原価金額	売価金額	発注重量	出荷重量	受領重量
12345	国産牛ローススライス(約200g)	1,000	1,200	1	個	10	10	10	10	0	0	2,123	2,548	2.00	2.123	2.123

アウトパック商品はg単位での取引があり得る (kgでは小数点以下3桁)。事前に会社間で取り決めておく内容。

## 2. 商材別事例 項目セットの方法

### P2-2. 国産牛スライスの例（定貴）



(パック発注)

パック区分=01

12348

国産牛ローススライス(200g)

【発注形態について】

①定貴品と不定貴品を同じ伝票では、発注しない。

前提①: 200g入国産牛ローススライスを10パック(2kg)発注した場合の発注データ

前提②: 納品重量は、定貴なので10パック(2kg)の納品データ

前提③: 入荷検品重量も10パック(2kg)だった場合の受領データ

[発注]

(推定)

発注商品コード	商品名	不定貴区分	規格	原単価	売単価	発注単位	発注単位コード	発注数量(発注単位数)	発注数量(バラ)	原価金額	売価金額	単価登録単位	商品重量	入数	発注荷姿	発注重量
12348	国産牛ローススライス(200g)	00	パック	200	240	1	個	10	10	2,000	2,400			10	クレート	

定貴商品(不定貴区分=00)の場合は、セットしない。

[出荷]

(再計算)

(確定)

発注商品コード	商品名	原単価	売単価	発注単位	発注単位コード	発注数量(発注単位数)	発注数量(バラ)	出荷数量(発注単位数)	出荷数量(バラ)	欠品数量(発注単位数)	欠品数量(バラ)	原価金額	売価金額	発注重量	出荷重量
12348	国産牛ローススライス(200g)	200	240	1	個	10	10	10	10	0	0	2,000	2,400		

[受領]

(確定)

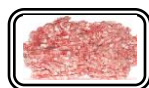
発注商品コード	商品名	原単価	売単価	発注単位	発注単位コード	発注数量(発注単位数)	発注数量(バラ)	出荷数量(発注単位数)	出荷数量(バラ)	受領数量(発注単位数)	受領数量(バラ)	原価金額	売価金額	発注重量	出荷重量	受領重量
12348	国産牛ローススライス(200g)	200	240	1	個	10	10	10	10	10	10	2,000	2,400			

定貴商品(不定貴区分=00)の場合は、セットしない。



## 2. 商材別事例 項目セットの方法

### P3-1. 国産豚ミンチの例（不定貫）



(パック発注)

パック区分=01

12346

国産豚ミンチ約300g入

#### 【発注形態について】

- ①納入者は、発注データをもとにミンチ肉を加工計量する。
- ②発注データを計量器へ連動し、計量指図データとする。

前提①: 約300g入国産豚ミンチを30パック(約9kg)発注した場合の発注データ  
前提②: 実際の納品が合計重量が9.222kgだった場合の納品データ  
前提③: 入荷検品時の合計重量が9.222kgだった場合の受領データ

#### [発注]

(推定)

発注商品コード	商品名	規格	原単価	売単価	発注単位	発注単位コード	発注数量 (発注単位数)	発注数量 (バラ)	原価 金額	売価 金額	単価登録単位	商品重量	入数	発注 荷姿	発注 重量
12346	国産豚ミンチ約300g入	パック	1,000	1,200	30	個	1	30	9,000	10,800	1kg	0.30kg	30	ケース	9.00
12347	国産豚ミンチ約300g入	パック	1,000	1,200	1	個	30	30	9,000	10,800	1kg	0.30kg	30	ケース	9.00

#### [出荷]

(再計算)

(確定)

発注商品コード	商品名	原単価	売単価	発注単位	発注単位コード	発注数量 (発注単位数)	発注数量 (バラ)	出荷数量 (発注単位数)	出荷数量 (バラ)	欠品数量 (発注単位数)	欠品数量 (バラ)	原価 金額	売価 金額	発注 重量	出荷 重量
12346	国産豚ミンチ約300g入	1,000	1,200	30	個	1	30	1	30	0	0	9,222	11,066	9.00	9.222
12347	国産豚ミンチ約300g入	1,000	1,200	1	個	30	30	30	30	0	0	9,222	11,066	9.00	9.222

#### [受領]

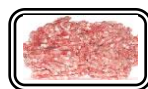
(確定)

発注商品コード	商品名	原単価	売単価	発注単位	発注単位コード	発注数量 (発注単位数)	発注数量 (バラ)	出荷数量 (発注単位数)	出荷数量 (バラ)	受領数量 (発注単位数)	受領数量 (バラ)	原価 金額	売価 金額	発注 重量	出荷 重量	受領 重量
12346	国産豚ミンチ約300g入	1,000	1,200	30	個	1	30	1	30	1	30	9,222	11,066	9.00	9.222	9.222
12347	国産豚ミンチ約300g入	1,000	1,200	1	個	30	30	30	30	30	30	9,222	11,066	9.00	9.222	9.222

アウトパック商品はg単位での取引があり得る (kgでは小数点以下3桁)。事前に会社間で取り決めておく内容。

## 2. 商材別事例 項目セットの方法

### P3-2. 国産豚ミンチの例（定貫）



（パック発注）

パック区分=01

12349

国産豚ミンチ300g入

【入数】定貫商品では、入数を決めて実施することが多い。

前提①: 300g入国産豚ミンチを30パック(9kg)発注した場合の発注データ  
前提②: 実際の納品が30パック(9kg)だった場合の納品データ  
前提③: 入荷検品時の結果が30パック(9kg)だった場合の受領データ

(推定)

発注商品コード	商品名	不定貫区分	規格	原単価	売単価	発注単位	発注単位コード	発注数量(発注単位数)	発注数量(バラ)	原価金額	売価金額	単価登録単位	商品重量	入数	発注荷姿	発注重量
12349	国産豚ミンチ約300g入	00	パック	300	360	30	個	1	30	9,000	10,800			30	ケース	
12240	国産豚ミンチ約300g入	00	パック	300	360	1	個	30	30	9,000	10,800			30	ケース	

定貫商品(不定貫区分=00)の場合は、セットしない。

### 【出荷】

(再計算)

(確定)

発注商品コード	商品名	原単価	売単価	発注単位	発注単位コード	発注数量(発注単位数)	発注数量(バラ)	出荷数量(発注単位数)	出荷数量(バラ)	欠品数量(発注単位数)	欠品数量(バラ)	原価金額	売価金額	発注重量	出荷重量
12349	国産豚ミンチ約300g入	300	360	30	個	1	30	1	30	0	0	9,000	10,800		
12240	国産豚ミンチ約300g入	300	360	1	個	30	30	30	30	0	0	9,000	10,800		

### 【受領】

(確定)

発注商品コード	商品名	原単価	売単価	発注単位	発注単位コード	発注数量(発注単位数)	発注数量(バラ)	出荷数量(発注単位数)	出荷数量(バラ)	受領数量(発注単位数)	受領数量(バラ)	原価金額	売価金額	発注重量	出荷重量	受領重量
12349	国産豚ミンチ約300g入	300	360	30	個	1	30	1	30	1	30	9,000	10,800			
12240	国産豚ミンチ約300g入	300	360	1	個	30	30	30	30	30	30	9,000	10,800			

定貫商品(不定貫区分=00)の場合は、セットしない。

## 2. 商材別事例 項目セットの方法

### (2) 入数、発注数量(発注単位数)のセットについて

#### ①ブロック【単品：パーツ発注、規格セット発注、セット発注】の例（不定貫）

- ・入数については、出荷荷姿(クレート、ケース)内のブロック肉の数量をセットする。入数が可変でありセットできないような場合はセットしない(または‘1’をセットする)。
- ・発注単位については、最低発注ロットが決められていない場合は1をセットし、事前に発注ロットが取り決められている場合には、その値をセットする。
- ・発注数量(発注単位数)には、発注単位換算した発注数量をセットする。

A



1ケース内(約27.0kg)  
ネックと2分割肩ロース  
が入っている場合入数=3

B



1ケース内の入数が  
可変の場合  
入数には値をセット  
しない

[発注]

[出荷]

発注商品 コード	商品名	不定 貫 区 分	規 格	原単 価	売単 価	発 注 単 位	発注 単位 コード	発注 数量 (発注 単位数)	発 注 数 量 (バラ)	原価 金額	売価 金額	単 価 登 録 単 位	商品 重量	入 数	発注 荷姿	発注 重量	出 荷 数 量 (バラ)	出 荷 数 量 (出 荷 姿 数)	出 荷 荷 姿
49228232 00008	和牛肩 ロース	01	ブ ロ ッ ク	3,000	3,500	1	個	2	2	162,000	189,000	1kg	27.0 kg	3	ケース	54.0	2	2	ケース
49228220 10004	和牛 1/4セット	01	75 kg	2,500	3,000	1	個	1	1	187,500	225,000	1kg	75.0 kg		ケース	75.0	1	1	ケース

事前に発注ロットの取り決めがある  
場合にその値をセットする。

発注単位に換算した発注  
数量をセットする。

ケース内の入数をセットする。可変で  
セットできないような場合はセットしない。

## 2. 商材別事例 項目セットの方法

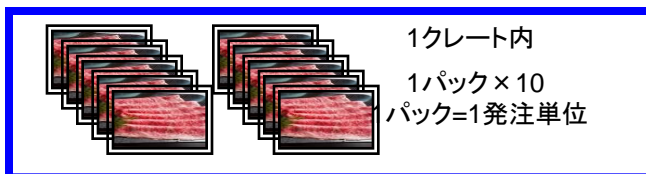
### (2) 入数、発注数量(発注単位数)のセットについて

#### ②スライス、ミンチの例 (不定貫)

- ・入数については、出荷荷姿(クレート、ケース)内のパック数をセットする。入数がセットできないような場合はセットしない(または‘1’をセットする)。
- ・発注単位については、最低発注ロットが決められていない場合は1をセットし、事前に発注ロットが取り決められている場合には、その値をセットする(下記の例Dは、最低ロット10Pとして取り決めされている場合の表記)。
- ・発注数量(発注単位数)には、発注単位換算した発注数量をセットする。
- ・下記の例C,Dでは、結果的に同じものが出荷されることになる。

発注数量(バラ) = 発注単位 × 発注数量(発注単位数)。

C



D



【発注】

【出荷】

発注商品コード	商品名	不定貫区分	規格	原単価	売単価	発注単位	発注単位コード	発注数量(発注単位数)	発注数量(バラ)	原価金額	売価金額	単価登録単位	商品重量	入数	発注荷姿	発注重量	出荷数量(バラ)	出荷数量(出荷荷姿数)	出荷荷姿
C 12301	国産牛ローススライス(約200g)	01	パック	1,000	1,200	1	個	10	10	2,000	2,400	1kg	0.200 kg	10	クレート	2.00	10	1	クレート
D 12301	国産牛ローススライス(約200g)	01	パック	1,000	1,200	10	個	1	10	2,000	2,400	1kg	0.200 kg	10	クレート	2.00	10	1	クレート

パック区分=01

事前に発注ロットの取り決めがある場合にその値をセットする。

発注単位に換算した発注数量をセットする。

クレート、または、ケース内のパック数をセットする。セットできないような場合はセットしない。

### 3. チェーンストア伝票の記載例

#### 【記載例(ターンアラウンド1型)】

##### (1) 不定貫商品の場合

伝票の「数量」に**出荷数量**、「訂正数量」に**出荷重量**をセットする。

※タイプ用1型の場合は「数量」に**出荷重量**をセットする。

##### (2) 定貫商品の場合

伝票の「数量」に**発注数量**をセットする。出荷時に**数量の訂正がある場合**、「訂正数量」に**出荷数量**をセットする。

※タイプ用1型の場合は数量に**出荷数量**をセットする。

#### ■ 伝票項目とメッセージ項目の関係

カテゴリ	伝票種別	伝票項目			
		入数	ケース	数量	訂正後数量
不定貫商品	T/A1型	発注単位	発注数量 (発注単位数)	出荷数量 (バラ)	出荷重量
	タイプ1型	- (記載しない)	出荷数量 (バラ)	出荷重量	
定貫商品	T/A1型	発注単位	発注数量 (発注単位数)	発注数量 (バラ)	出荷数量 (バラ)
	タイプ1型	発注単位	発注数量 (発注単位数)	出荷数量 (バラ)	

表中の斜体はメッセージ項目を表す

#### ■伝票記載に関する注意事項

出荷重量に小数点以下3桁までデータをセットして、チェーンストア統一伝票の訂正後数量(※タイプ用1型の場合は数量)に印字した場合、チェーンストア統一伝票の印字桁数が不足し、出荷重量と出荷重量に原単価(売単価)を掛け合わせた原価金額(売価金額)との間で伝票表記上の不整合が生じる場合がある。

現行運用については、様々な運用があるため、流通BMSでは、『**重量項目、原価金額、売価金額の小数点以下の扱い(精度、伝票記載方法)**は相対間で調整した内容とする』こととする。

### 3. チェーンストア伝票の記載例

#### (1) 不定貫商品(パック)【単価登録単位1Kg】



(パック発注)

パック区分=01

12345

国産牛ローススライス(約200g)

#### 【発注形態について】

- ① 納入者は、発注データをもとにスライス肉を加工計量する。
- ② 発注データを計量器へ連動し、計量指図データとする。

前提①: 約200g入国産牛ローススライスを10パック(約2kg)発注した場合の発注データ【発注単位: 1(バラ発注商品)】

単価登録単位は1Kg

前提②: 実際の納品が合計重量が2.123kgだった場合の納品データ

前提③: 入荷検品時の合計重量が2.123kgだった場合の受領データ

#### 【発注】

(推定)

発注商品コード	商品名	規格	原単価	売単価	発注単位	発注単位コード	発注数量(発注単位数)	発注数量(バラ)	原価金額	売価金額	単価登録単位	商品重量	入数	発注荷姿	発注重量
12345	国産牛ローススライス(約200g)	パック	1,000	1,200	1	個	10	10	2,000	2,400	1kg	0.200kg	1	クレート	2.00

#### 【出荷】

(再計算)

(確定)

発注商品コード	商品名	原単価	売単価	発注単位	発注単位コード	発注数量(発注単位数)	発注数量(バラ)	出荷数量(発注単位数)	出荷数量(バラ)	欠品数量(発注単位数)	欠品数量(バラ)	原価金額	売価金額	発注重量	出荷重量
12345	国産牛ローススライス(約200g)	1,000	1,200	1	個	10	10	10	10	0	0	2,123	2,548	2.00	2.123

#### 【受領】

(確定)

発注商品コード	商品名	原単価	売単価	発注単位	発注単位コード	発注数量(発注単位数)	発注数量(バラ)	出荷数量(発注単位数)	出荷数量(バラ)	受領数量(発注単位数)	受領数量(バラ)	原価金額	売価金額	発注重量	出荷重量	受領重量
12345	国産牛ローススライス(約200g)	1,000	1,200	1	個	10	10	10	10	10	10	2,123	2,548	2.00	2.123	2.123

アウトパック商品はg単位での取引があり得る。

### 3. チェーンストア伝票の記載例

#### (1) 不定貫商品(パック)【単価登録単位1Kg】

次項   部分と伝票との相関を表すと下記の図の通りとなる。

なお、印字する場合、項目によっては桁数があふれる場合があるため、注意を必要とする。

	項目	必須 任意	桁数	セット例	備考
	<取引>				
①	取引番号(発注・返品)	必須	MAX10	1000001	
	<取引合計>				
②	原価金額合計	任意	MAX10	2,123	
③	売価金額合計	任意	MAX10	2,548	
④	数量合計	任意	MAX6	10	
⑤	重量合計	任意	MAX13	2.123	
	<取引明細>				
⑥	取引明細番号(発注・返品)	必須	MAX4	1	
	<商品>				
⑦	商品コード(発注用)	必須	MAX14	12345	伝票は13桁のため、GTINを印字する場合は桁数がオーバー
⑧	商品名カナ	任意	MAX25	コクサングェウローススライス(ヤ ク200G)	
	<原価>				
⑨	原単価	必須	MAX10	1,000	伝票は8桁のため、原単価(MAX10桁)を印字する場合、桁数がオーバー
⑩	原価金額	必須	MAX10	2,123	伝票は9桁のため、原価金額(MAX10桁)を印字する場合、桁数がオーバー
	<売価>				
⑪	売単価	必須	MAX10	1,200	伝票は6桁のため、売単価(MAX10桁)を印字する場合、桁数がオーバー
⑫	売価金額	必須	MAX10	2,548	伝票は9桁のため、売価金額(MAX10桁)を印字する場合、桁数オーバー
	<数量>				
⑬	発注数量(バラ)	必須	MAX7	10	
⑭	発注単位	必須	MAX4	1	
⑮	発注数量(発注単位数)	必須	MAX6	10	
⑯	発注単位コード	必須	2	00(個)	※共同実証では「00」(個)のみを使用。
⑰	出荷数量(バラ)	必須	MAX7	10	
⑱	出荷重量	任意	MAX10	2.123	

単価登録単位は1Kgとする。



# 3. チェーンストア伝票の記載例

## (1) 不定貫商品(パック)【単価登録単位1Kg】

### ① 伝票との相関例(T/A用1型)

伝票のイメージ

A B C			D		チェーンストア統一伝票(ターンアラウンド用1型)				訂正区分 有 無		実納品日 年 月 日			E						
					納品書															
社名	スーパーアイビ		社・店コード	01	分類コード		伝票区分	01	伝票番号	① 1000001	取引先コード	899999	取引先名	コダイラシヨクヒン			発注日 年 月 日	納品日 年 月 日	便 0 0	
店名	サイタマセンター																06 06 28	06 06 29		
品名・規格			商品コード	色入数	サイズケース	単位	数量	行	訂正後数量	引合区分	原単価	原価金額	売単価	備考(売価金額)						
⑧ コクサンギョウロススライス(ヤク200G)			⑦ 12345	⑭ 1	⑮ 10	⑯ コ	⑰ 10	⑥ 1	⑱ 2.123		⑨ 1000	⑩ 2123	⑪ 1200	⑫ 2548						
・発注数量(バラ)は記載しない。																				
							④ 10		⑤ 2.123	合計	原価金額合計	② 2123	売価金額合計	③ 2548						
F	H		L																	
G	I	J	K																	
訂正後原価金額合計										訂正後売価金額合計										

### 3. チェーンストア伝票の記載例

#### (1) 不定貫商品(パック)【単価登録単位1Kg】

#### ● ②伝票との相関例(タイプ用1型)

伝票のイメージ

A		B		C		D				チェーンストア統一伝票(タイプ用1型)										E									
										仕入れ伝票①																			
社名	スーパーアイビ					社・店コード		分類コード		伝票区分		伝票番号		取引先コード		取引業者		コダイラシヨクヒン				納品日							
店名	サイタマセンター					01				01		① 1000001		899999								年 月 日 便							
																						06 06 29 00							
行	品名・企画					商品コード		色 人数		サイズ ケース		数量		引合/ 区分		原単価		原価金額		売単価		備考(売価金額)							
1	⑥ コクサンギョウロススライス(ヤク200G)					⑦ 12345				⑪ 10		⑫ 2123				⑨ 1000		⑩ 2123		⑪ 1200		⑫ 2548							
2																													
3																													
4																													
5																													
6																													
F		H											⑤ 合計 2,123				② 原価金額 合計 2123				③ 売価金額 合計 2548								
G		1 2 3																											
										訂正後原価金額合計										訂正後売価金額合計									

### 3. チェーンストア伝票の記載例

#### (2) 不定貫商品(パック)【単価登録単位100g】



(パック発注)

パック区分=01

12345

国産牛ローススライス(約200g)

#### 【発注形態について】

- ①納入者は、発注データをもとにスライス肉を加工計量する。
- ②発注データを計量器へ連動し、計量指図データとする。

前提①: 約200g入国産牛ローススライスを10パック(約2kg)発注した場合の発注データ【発注単位: 1(バラ発注商品)】

単価登録単位は100g

前提②: 実際の納品が合計重量が2.123kgだった場合の納品データ

前提③: 入荷検品時の合計重量が2.123kgだった場合の受領データ

#### 【発注】

(推定)

発注商品コード	商品名	規格	原単価	売単価	発注単位	発注単位コード	発注数量(発注単位数)	発注数量(バラ)	原価金額	売価金額	単価登録単位	商品重量	入数	発注荷姿	発注重量
12345	国産牛ローススライス(約200g)	パック	100	120	1	個	10	10	2,000	2,400	100g	0.200kg	1	クレート	2.00

#### 【出荷】

(再計算)

(確定)

発注商品コード	商品名	原単価	売単価	発注単位	発注単位コード	発注数量(発注単位数)	発注数量(バラ)	出荷数量(発注単位数)	出荷数量(バラ)	欠品数量(発注単位数)	欠品数量(バラ)	原価金額	売価金額	発注重量	出荷重量
12345	国産牛ローススライス(約200g)	100	120	1	個	10	10	10	10	0	0	2,123	2,548	2.00	2.123

#### 【受領】

(確定)

発注商品コード	商品名	原単価	売単価	発注単位	発注単位コード	発注数量(発注単位数)	発注数量(バラ)	出荷数量(発注単位数)	出荷数量(バラ)	受領数量(発注単位数)	受領数量(バラ)	原価金額	売価金額	発注重量	出荷重量	受領重量
12345	国産牛ローススライス(約200g)	100	120	1	個	10	10	10	10	10	10	2,123	2,548	2.00	2.123	2.123

アウトパック商品はg単位での取引があり得る。

### 3. チェーンストア伝票の記載例

#### (2) 不定貫商品(パック)【単価登録単位100g】

次項   部分と伝票との相関を表すと下記の図の通りとなる。

なお、印字する場合、項目によっては桁数があふれる場合があるため、注意を必要とする。

	項目	必須 任意	桁数	セット例	備考
	<取引>				
①	取引番号(発注・返品)	必須	MAX10	1000001	
	<取引合計>				
②	原価金額合計	任意	MAX10	2,123	
③	売価金額合計	任意	MAX10	2,548	
④	数量合計	任意	MAX6	10	
⑤	重量合計	任意	MAX13	2.123	重量はKg単位での表現とする
	<取引明細>				
⑥	取引明細番号(発注・返品)	必須	MAX4	1	
	<商品>				
⑦	商品コード(発注用)	必須	MAX14	12345	伝票は13桁のため、GTINを印字する場合は桁数がオーバー
⑧	商品名カナ	任意	MAX25	コクサンギョウロースライス(ヤク 200G)	
	<原価>				
⑨	原単価	必須	MAX10	100	伝票は8桁のため、原単価(MAX10桁)を印字する場合、桁数がオーバー
⑩	原価金額	必須	MAX10	2,123	伝票は9桁のため、原価金額(MAX10桁)を印字する場合、桁数がオーバー
	<売価>				
⑪	売単価	必須	MAX10	120	伝票は6桁のため、売単価(MAX10桁)を印字する場合、桁数がオーバー
⑫	売価金額	必須	MAX10	2,548	伝票は9桁のため、売価金額(MAX10桁)を印字する場合、桁数オーバー
	<数量>				
⑬	発注数量(バラ)	必須	MAX7	10	
⑭	発注単位	必須	MAX4	1	
⑮	発注数量(発注単位数)	必須	MAX6	10	
⑯	発注単位コード	必須	2	00(個)	※共同実証では「00」(個)のみを使用。
⑰	出荷数量(バラ)	必須	MAX7	10	
⑱	出荷重量	任意	MAX10	2.123	重量はKg単位での表現とする

単価登録単位は100gとする。

### 3. チェーンストア伝票の記載例

(2)不定貫商品(パック)【単価登録単位100g】

### ● ①伝票との相関例(T/A用1型)

## 伝票のイメージ

A   B   C			D		チェーンストア統一伝票(ターンアラウンド用1型)					納品書		<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%;">訂正区分</td> <td style="width: 50%;">実納品日</td> </tr> <tr> <td>有   無</td> <td>年   月   日</td> </tr> </table>		訂正区分	実納品日	有   無	年   月   日	E																	
訂正区分	実納品日																																		
有   無	年   月   日																																		
社名   スーパーアイビ		社・店コード		分類コード		伝票区分		伝票番号		取引先コード		取引先名   コダイラシヨクヒン																							
店名   サイタマセンター		01				01		① 1000001		899999				<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td colspan="2">発注日</td> <td colspan="2">納品日</td> <td colspan="2">便</td> </tr> <tr> <td>年</td><td>月</td><td>日</td> <td>年</td><td>月</td><td>日</td> <td>0</td><td>0</td> </tr> <tr> <td>06</td><td>06</td><td>28</td> <td>06</td><td>06</td><td>29</td> <td>0</td><td>0</td> </tr> </table>		発注日		納品日		便		年	月	日	年	月	日	0	0	06	06	28	06	06	29
発注日		納品日		便																															
年	月	日	年	月	日	0	0																												
06	06	28	06	06	29	0	0																												

品 名 ・ 規 格	商品コード	色	サイズ	単位	数量	行	訂正後 数 量	引合 区分	原単価		原価金額	売単価	備考(売価金額)
		入数	ケース										
⑧ コクサンキョウローススライス(ヤク200G)	⑦ 12345	⑭ 1	⑮ 10	⑯ コ	⑰ 10	⑥ 1	⑱ 21.23		⑨ 100		⑩ 2123	⑪ 120	⑫ 2548
<div style="border: 1px solid blue; padding: 5px; width: 150px; float: left;">           ・発注数量(バラ) は記載しない。         </div> <div style="border: 1px solid red; padding: 5px; width: 200px; float: right; margin-left: 20px;">           単価登録単位(100g)に合わせて 出荷重量(kg単位)を10倍で表記。         </div>													
					④ 10		⑤ 21.23	合計	原価金額合計		② 2123	売価金額合計	③ 2548

F		H		L			
G		I   J   K					

--	--	--	--	--	--

--	--	--	--	--	--

### 3. チェーンストア伝票の記載例

#### (2) 不定貫商品(パック)【単価登録単位100g】

#### ● ②伝票との相関例(タイプ用1型)

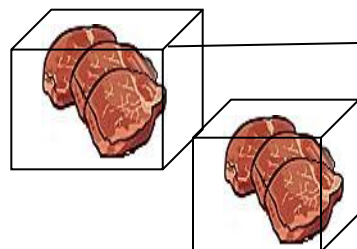
伝票のイメージ

チェーンストア統一伝票(タイプ用1型)												
仕入れ伝票①												
A B C		D				E						
社名 スーパーアイビ		社・店コード 01		分類コード 01	伝票区分 ①	伝票番号 1000001	取引先コード 899999	取引業者 コダイラシヨクヒン		納品日 年 月 日 便 06 06 29 00		
店名 サイタマセンター												
行	品名・企画	商品コード	色 人数	サイズ ケース	数量	引合/ 区分	原単価	原価金額	売単価	備考(売価金額)		
1	⑥ コクサンギョウロススライス(ヤク200G)	⑦ 12345		⑪ 10	⑫ 21.23		⑬ 100	⑭ 2123	⑮ 120	⑯ 2548		
2												
3												
4												
5												
6												
F		H										
G		1	2	3								
合計					⑰ 21.23		⑱ 100	⑲ 2123	⑳ 120	㉑ 2548		
訂正後原価金額合計					訂正後売価金額合計							

単価登録単位(100g)に合わせて出荷重量(kg単位)を10倍で表記。

### 3. チェーンストア伝票の記載例

#### (3) 不定貫商品(部分肉)【単価登録単位1Kg】



4922813200001

和牛肩ロース (約27kg)

前提①: 和牛肩ロースブロック(約27kg)を2個(約54kg)発注した場合の発注データ

【発注単位: 1(ケース)、ケース商品重量27Kg、入数: 3ブロック】

前提②: 実際の納品が合計重量が54.2kgだった場合の納品データ

前提③: 入荷検品時の合計重量が54.2kgだった場合の受領データ

#### [発注]

(推定)

発注商品コード	商品名	規格	原単価	売単価	発注単位	発注単位コード	発注数量(発注単位数)	発注数量(バラ)	原価金額	売価金額	単価登録単位	商品重量	入数	発注荷姿	発注重量
4922813200001	和牛肩ロース(約27kg)	27kg	3,000	3,500	1	個	2	2	162,000	189,000	1kg	27.0kg	3	ケース	54.0

#### [出荷]

(再計算)

(確定)

発注商品コード	商品名	原単価	売単価	発注単位	発注単位コード	発注数量(発注単位数)	発注数量(バラ)	出荷数量(発注単位数)	出荷数量(バラ)	欠品数量(発注単位数)	欠品数量(バラ)	原価金額	売価金額	発注重量	出荷重量
4922813200001	和牛肩ロース(約27kg)	3,000	3,500	1	個	2	2	2	2	0	0	162,600	189,700	54.0	54.2

#### [受領]

(確定)

発注商品コード	商品名	原単価	売単価	発注単位	発注単位コード	発注数量(発注単位数)	発注数量(バラ)	出荷数量(発注単位数)	出荷数量(バラ)	受領数量(発注単位数)	受領数量(バラ)	原価金額	売価金額	発注重量	出荷重量	受領重量
4922813200001	和牛肩ロース(約27kg)	3,000	3,500	1	個	2	2	2	2	2	2	162,600	189,700	54.0	54.2	54.2

### 3. チェーンストア伝票の記載例

#### (3) 不定貫商品(部分肉)【単価登録単位1Kg】

次項   部分と伝票との相関を表すと下記の図の通りとなる。

なお、印字する場合、項目によっては桁数があふれる場合があるため、注意を必要とする。

	項目	必須 任意	桁数	セット例	備考
	<取引>				
①	取引番号(発注・返品)	必須	MAX10	1000001	
	<取引合計>				
②	原価金額合計	任意	MAX10	162,600	
③	売価金額合計	任意	MAX10	189,700	
④	数量合計	任意	MAX6	2	
⑤	重量合計	任意	MAX13	54.2	
	<取引明細>				
⑥	取引明細番号(発注・返品)	必須	MAX4	1	
	<商品>				
⑦	商品コード(発注用)	必須	MAX14	49228132000001	伝票は13桁のため、GTINを印字する場合は桁数がオーバー
⑧	商品名カナ	任意	MAX25	ワキウカタロス(ヤク 27KG)	
	<原価>				
⑨	原単価	必須	MAX10	3,000	伝票は8桁のため、原単価(MAX10桁)を印字する場合、桁数がオーバー
⑩	原価金額	必須	MAX10	162,600	伝票は9桁のため、原価金額(MAX10桁)を印字する場合、桁数がオーバー
	<売価>				
⑪	売単価	必須	MAX10	3,500	伝票は6桁のため、売単価(MAX10桁)を印字する場合、桁数がオーバー
⑫	売価金額	必須	MAX10	189,700	伝票は9桁のため、売価金額(MAX10桁)を印字する場合、桁数オーバー
	<数量>				
⑬	発注数量(バラ)	必須	MAX7	2	
⑭	発注単位	必須	MAX4	1	
⑮	発注数量(発注単位数)	必須	MAX6	2	
⑯	発注単位コード	必須	2	00(個)	※共同実証では「00」(個)のみを使用。
⑰	出荷数量(バラ)	必須	MAX7	2	
⑱	出荷重量	任意	MAX10	54.2	



### 3. チェーンストア伝票の記載例

#### (3) 不定貴商品(部分肉)【単価登録単位1Kg】

#### ①伝票との相関例(T/A用1型)

#### 伝票のイメージ

A B C			D		チェーンストア統一伝票(ターンアラウンド用1型)				訂正区分 有 無		実納品日 年 月 日			E					
					納品書														
社名	スーパーアイビ		社・店コード	01	分類コード		伝票区分	01	伝票番号	① 1000001	取引先コード	899999	取引先名	コダイラシヨクヒン			発注日 年 月 日 06 06 28	納品日 年 月 日 06 06 29	便 0 0
店名	サイタマセンター																		
品名・規格			商品コード	色 入数	サイズ ケース	単位	数量	行	訂正後 数量	引合 区分	原単価	原価金額	売単価	備考(売価金額)					
⑧ ワギュウカタロス(ヤク27KG)			⑦ 49228132000	⑭ 1	⑮ 2	⑯ コ	⑰ 2	⑱ 1	⑲ 542		⑩ 3000	⑪ 162600	⑫ 3500	⑬ 189700					
・発注数量(バラ) は記載しない。								2											
								3											
								4											
								5											
							④ 2	⑤ 542				② 162600		③ 189700					
F			H		L		2		542	合計	原価金額合計	162600	売価金額合計	189700					
G			I	J	K														
訂正後原価金額合計										訂正後売価金額合計									

### 3. チェーンストア伝票の記載例

#### (3) 不定貴商品(部分肉)【単価登録単位1Kg】

#### ● ②伝票との相関例(タイプ用1型)

伝票のイメージ

A		B		C		D		チェーンストア統一伝票(タイプ用1型)										E								
								仕入れ伝票①																		
社名	スーパーアイビ					社・店コード	01	分類コード		伝票区分	01	伝票番号	① 1000001	取引先コード	899999	取引業者	コダイラシヨクヒン					納品日	年	月	日	便
店名	サイタマセンター																				06	06	29	00		
行	品名・企画		商品コード		色	サイズ	数量	引合/区分	原単価	原価金額	売単価	備考(売価金額)														
1	⑥ ワギュウカタ羅斯(ヤク27KG)		⑦ 49228132000		人数	⑬ ケース	⑭ 2		⑨ 3d00	⑩ 162600	⑪ 3500	⑫ 189700														
2																										
3																										
4																										
5																										
6																										
F		H				合計	⑤ 542		原価金額合計	② 162600	売価金額合計	③ 189700														
G				1	2	3																				
訂正後原価金額合計													訂正後売価金額合計													

### 3. チェーンストア伝票の記載例

#### (4) 定貴商品



(パック発注)

パック区分=01

12348

国産牛ローススライス(200g)

#### 【発注形態について】

① 定貴品と不定貴品を同じ伝票では、発注しない。

前提①: 200g入国産牛ローススライスを10パック(2kg)発注した場合の発注データ【発注単位: 1(バラ発注商品)】

前提②: 納品重量は、定貴なので10パック(2kg)の納品データ

前提③: 入荷検品重量も10パック(2kg)だった場合の受領データ

#### [発注]

(推定)

発注商品コード	商品名	不定貴区分	規格	原単価	売単価	発注単位	発注単位コード	発注数量(発注単位数)	発注数量(バラ)	原価金額	売価金額	単価登録単位	商品重量	入数	発注荷姿	発注重量
12348	国産牛ローススライス(200g)	00	パック	200	240	1	個	10	10	2,000	2,400			1	クレート	

定貴商品(不定貴区分=00)の場合は、セットしない。

#### [出荷]

(再計算)

(確定)

発注商品コード	商品名	原単価	売単価	発注単位	発注単位コード	発注数量(発注単位数)	発注数量(バラ)	出荷数量(発注単位数)	出荷数量(バラ)	欠品数量(発注単位数)	欠品数量(バラ)	原価金額	売価金額	発注重量	出荷重量
12348	国産牛ローススライス(200g)	200	240	1	個	10	10	10	10	0	0	2,000	2,400		

#### [受領]

(確定)

発注商品コード	商品名	原単価	売単価	発注単位	発注単位コード	発注数量(発注単位数)	発注数量(バラ)	出荷数量(発注単位数)	出荷数量(バラ)	受領数量(発注単位数)	受領数量(バラ)	原価金額	売価金額	発注重量	出荷重量	受領重量
12348	国産牛ローススライス(200g)	200	240	1	個	10	10	10	10	10	10	2,000	2,400			

定貴商品(不定貴区分=00)の場合は、セットしない。

### 3. チェーンストア伝票の記載例

#### (4) 定貨商品

次項   部分と伝票との相関を表すと下記の図の通りとなる。

なお、印字する場合、項目によっては桁数があふれる場合があるため、注意を必要とする。

	項目	必須 任意	桁数	セット例	備考
	<取引>				
①	取引番号(発注・返品)	必須	MAX10	1000001	
	<取引合計>				
②	原価金額合計	任意	MAX10	2,000	
③	売価金額合計	任意	MAX10	2,400	
④	数量合計	任意	MAX6	10	
⑤	重量合計	任意	MAX13	2.123	
	<取引明細>				
⑥	取引明細番号(発注・返品)	必須	MAX4	1	
	<商品>				
⑦	商品コード(発注用)	必須	MAX14	12348	伝票は13桁のため、GTINを印字する場合は桁数がオーバー
⑧	商品名カナ	任意	MAX25	コクサンギョウロススライス (200G)	
	<原価>				
⑨	原単価	必須	MAX10	200	伝票は8桁のため、原単価(MAX10桁)を印字する場合、桁数がオーバー
⑩	原価金額	必須	MAX10	2,000	伝票は9桁のため、原価金額(MAX10桁)を印字する場合、桁数がオーバー
	<売価>				
⑪	売単価	必須	MAX10	240	伝票は6桁のため、売単価(MAX10桁)を印字する場合、桁数がオーバー
⑫	売価金額	必須	MAX10	2,400	伝票は9桁のため、売価金額(MAX10桁)を印字する場合、桁数オーバー
	<数量>				
⑬	発注数量(バラ)	必須	MAX7	10	
⑭	発注単位	必須	MAX4	1	
⑮	発注数量(発注単位数)	必須	MAX6	10	
⑯	発注単位コード	必須	2	00(個)	※共同実証では「00」(個)のみを使用。
⑰	出荷数量(バラ)	必須	MAX7	10	
⑱	出荷重量	任意	MAX10		

# 3. チェーンストア伝票の記載例

## (4) 定貫商品

### ① 伝票との相関例 (T/A用1型)

#### 伝票のイメージ

A B C			D		チェーンストア統一伝票(ターンアラウンド用1型)				訂正区分 有 無		実納品日 年 月 日			E								
					納品書																	
社名	スーパーアイビ		社・店コード	01	分類コード		伝票区分	01	伝票番号	① 1000001	取引先コード	899999	取引先名	コダイラシヨクヒン			発注日 年 月 日 06 06 28		納品日 年 月 日 06 06 29		便 0 0	
店名	サイタマセンター																					
品名・規格			商品コード	色 入数	サイズ ケース	単位	数量	行	訂正後 数量	引合 区分	原単価	原価金額	売単価	備考(売価金額)								
⑧ コクサンギョウロススライス(200G)			⑦ 12348	⑭ 1	⑮ 10	⑯ コ	⑬ 10	⑥ 1	⑰		⑨ 200	⑩ 2000	⑪ 240	⑫ 2400								
								2														
								3														
								4														
								5														
							④ 10	⑤				② 2000		③ 2400								
F			H		L		合計		原価金額合計		2000		売価金額合計		2400							
G			I	J	K																	
訂正後原価金額合計										訂正後売価金額合計												

※出荷数量が発注数量と異なる場合、訂正後数量に「出荷数量(バラ)」を記載する。

### 3. チェーンストア伝票の記載例

#### (4) 定貫商品

#### ● ②伝票との相関例(タイプ用1型)

伝票のイメージ

A B C			D			チェーンストア統一伝票(タイプ用1型) <b>仕入れ伝票①</b>						E	
社名 スーパーアイビ			社・店コード 01		分類コード 01	伝票区分 ①	伝票番号 1000001	取引先コード 899999	取引業者 コダイラシヨクヒン	納品日 年 月 日 便 06 06 29 00			
店名 サイタマセンター													
行	品名・企画	商品コード	色 大数	サイズ ケース	数量	引合/区分	原単価	原価金額	売単価	備考(売価金額)			
1	⑥ コクサンキューローズスライス(200G)	⑤ 12348	⑭ 1	⑮ 10	⑰ 10		⑦ 200	⑧ 2000	⑨ 240	⑩ 2400			
2													
3													
4													
5													
6													
F		H		合計		④ 10	原価金額 合計 ② 2000		売価金額 合計 ③ 2400				
G		1	2	3									
訂正後原価金額合計						訂正後売価金額合計							

## 4. 食肉個体識別番号伝達について

- 流通BMSでは、食肉個体識別番号伝達のためのメッセージは開発されていない。
- 食肉個体識別番号の伝達にあたっては、「標準フォーマット」(CSV形式)<sup>※1</sup>を活用し、“プライベートメッセージ”の運用ルール<sup>※2</sup>に則った方法でファイル交換を行うことを推奨する。
- 運用の際には、メッセージの送受信方法、交換するメッセージ種の名称、ファイル形式等について相対での調整が必要となる。

### ※1 「標準フォーマット」(CSV形式) …

データ項目等詳細については、「食肉流通標準化システム協議会」(事務局:公益財団法人日本食肉流通センター)へ問い合わせのこと。

参考までに、データ項目の一覧(2013年4月時点)を次ページ以降に掲載する。

### ※2 “プライベートメッセージ”の運用ルール …

流通BMSの標準ではないメッセージやファイルを流通BMSのインフラを使用して簡易的に送受信する際の方式、規定。

詳細については「導入ガイドライン」の該当箇所を参照のこと。

## 4. 食肉個体識別番号伝達について

### (参考) 牛肉個体識別番号の情報伝達フォーマット

No	情報グループ	項目名称	記入例	項目説明	最大桁数	小数	ステータス
1	送信元 (FROM)	送信元企業コード(売上側)	00001	送信元企業を表すコード	X(13)		必須
2		送信元企業名称(カナ)	ABCハム	送信元企業の名称 カナ表記	X(35)		選択
3		送信元企業名称(漢字)	ABCハム	送信元企業の名称 漢字表記	N(35)		選択
4		送信元企業部課コード	00010	送信元企業の店舗売場、本部課等を表すコード 任意(当事者間で決定)	X(13)		選択
5		送信元企業部課名称(カナ)	コクナイギュウニクブ	送信元企業の店舗売場、本部課等の名称 カナ表記	X(35)		選択
6		送信元企業部課名称(漢字)	国内牛肉部	送信元企業の店舗売場、本部課等の名称 漢字表記	N(35)		選択
7		送信担当者電話番号	044-123-4567	送信元企業の発注担当者の電話番号	X(20)		選択
8	受信元 (TO)	受信元企業コード	02000	受信元企業を表すコード(受信元企業コード)	X(13)		必須
9		受信元企業名称(カナ)	イロハスーパー	受信元企業の名称 カナ表記(受信元企業の名称)	X(35)		選択
10		受信元企業名称(漢字)	いろはスーパー	受信元企業の名称 漢字表記(受信元企業の名称)	N(35)		選択
11		受信元企業事業所コード	00200	受信元企業の事業所を表すコード (受信元企業の受信元元事業所)	X(13)		選択
12		受信元企業事業所名称 (カナ)	セイニクブ	受信元企業の事業所の名称 カナ表記 (受信元企業の受信元元事務所名称)	X(35)		選択
13		受信元企業事業所名称 (漢字)	精肉部	受信元企業の事業所の名称 漢字表記 (受信元企業の受信元元事務所名称)	N(35)		選択
14		受信元企業担当者電話番号	03-3987-6543	納品企業の担当者の電話番号	X(20)		選択
15	管理No	管理ナンバー	ABC3333333	送信元が決めたデータ管理番号	X(20)		必須
16	伝票情報	伝票ナンバー	U000001	送信元が決めた納品情報に振られる一意の番号	X(15)		選択
17		伝票行ナンバー	01	送信元が決めた納品情報に振られる一意の番号(行)	X(3)		選択
18	識別情報	個体識別番号	1234567895	個体識別番号(ロット形成時は、任意)	X(10)		(選択)
19		ロットNo		ロットナンバー	X(20)		(選択)
20	アクション 要求	アクション要求コード	1	情報の訂正/取消(赤黒区分)を表すコード 0:通常 1:取消 2:取消修正(黒)	X(1)		選択
21		取引区分	2	当該情報を取引内容を示すコード	X(2)		必須
22	データ作成	データ作成年月日	20040517	データを作成した年月日(西暦:yyyymmdd)	X(8)		選択
23		データ作成時刻	1600	データを作成した時刻(hhmm)	X(4)		選択
24	納品日(着日)	納品年月日	20040519	商品を納品する年月日(西暦:yyyymmdd)	X(8)		必須



## 4. 食肉個体識別番号伝達について

No	情報グループ	項目名称	記入例	項目説明	最大桁数	小数	ステータス
25	納品先関連	納品先コード1	11111	納品先を表すコード (発注企業の店舗、倉庫等を含む)	X(13)		選択
26		納品先名称(カナ)1	イワツキセンター	納品先の企業の名称 カナ表記 (発注企業の店舗、倉庫等を含む)	X(35)		選択
27		納品先名称(漢字)1	岩槻センター	納品先の企業の名称 漢字表記 (発注企業の店舗、倉庫等を含む)	N(35)		選択
28		納品先コード2	00222	納品先を表すコード (発注企業の店舗、倉庫等を含む)	X(13)		選択
29		納品先名称(カナ)2	オオミヤテン	納品先の企業の名称 カナ表記 (発注企業の店舗、倉庫等を含む)	X(35)		選択
30		納品先名称(漢字)2	大宮店	納品先の企業の名称 漢字表記 (発注企業の店舗、倉庫等を含む)	N(35)		選択
31	冷蔵倉庫事業者関連	冷蔵倉庫事業者コード	03000	出庫した冷蔵倉庫事業者を表すコード	X(13)		選択
32		冷蔵倉庫事業者名称(カナ)	シバウラレイゾウ	出庫した冷蔵倉庫事業者の名称 カナ表記	X(35)		選択
33		冷蔵倉庫事業者名称(漢字)	芝浦冷蔵	出庫した冷蔵倉庫事業者の名称 漢字表記	N(35)		選択
34		冷蔵庫ロットナンバー	77777777	冷蔵倉庫事業者が決めた一意の番号	X(11)		選択
35		出庫年月日	20040516	冷蔵庫から商品を出庫した実際の日付	X(8)		選択
36		出庫報告ナンバー	88888888	冷蔵倉庫事業者が決めた出庫報告情報に振られる一意の番号	X(11)		選択
37	寄託者関連	寄託者コード	000001	寄託者企業を表すコード	X(13)		選択
38		寄託者名称(カナ)	ABCハム	寄託者企業の名称 カナ表記	X(35)		選択
39		寄託者名称(漢字)	ABCハム	寄託者企業の名称 漢字表記	N(35)		選択
40	運送会社	便区分	1	運送の便を表す区分(1便、2便、3便) 任意(当事者間で決定)	X(3)		選択
41		運送区分	1	運送方法を表す区分 任意(当事者間で決定)	X(2)		選択
42		運送会社コード	04444	運送会社を表すコード	X(13)		選択
43		運送会社名称(カナ)	カントウウンユ	運送会社の名称 カナ表記	X(35)		選択
44		運送会社名称(漢字)	関東運輸	運送会社の名称 漢字表記	N(35)		選択
45	商品	商品コード	00678	発注時の商品を表すコード	X(13)		必須
46		商品名(カナ)	マエズネ	商品の名称 カナ表記	X(30)		選択
47		商品名(漢字)	まえずね	商品の名称 漢字表記	N(30)		選択
48		標準商品コード	13500	発注時の商品を表すコード 標準商品コード(5桁)の使用を原則とする	X(5)		選択
49		標準商品名(漢字)	まえずね(すね)	標準品名の名称	N(30)		選択
50		重量	0012200	商品の重量	9(7)	3	必須
51		原価税区分	0	原価の税区分[0:税抜、1:税込、2:その他]	X(1)		選択
52		原価単価	0100000	原価の単価	9(7)	2	選択
53		原価金額	012200	原価の金額	9(6)		選択

## 4. 食肉個体識別番号伝達について

No	情報グループ	項目名称	記入例	項目説明	最大桁数	小数	ステータス
54	商品	売価税区分	0	売価の税区分[0:税抜、1:税込、2:その他]	X(1)		選択
55		売価単価	0105000	売価の単価	9(7)	2	選択
56		売価金額	012810	売価の金額	9(6)		選択
57	商品属性	態様区分	2	商品の保存・流通温度帯を表す区分	X(1)		選択
58		畜種区分	1	商品の畜種を表す区分	X(2)		選択
59		品種区分	11	商品の品種を表す区分	X(2)		選択
60		性別区分	11	商品の性別を表す区分	X(2)		選択
61		左右区分	0	商品の左右を表す区分	X(1)		選択
62		特定JAS区分	1	商品のJAS認定を表す区分	X(1)		選択
63	規格	規格	生産情報公表牛肉	商品のサイズ、整形方法指示、ピース毎の重量範囲を示す漢字表記	N(35)		選択
64	原産地	原産地コード	13	原産地(国内:都道府県、輸入:輸入国)を表すコード ・国内はJIS都道府県コード ・国外はISO 3166 国コード(3桁の数字)	X(3)		選択
65		原産地名(カナ)	トウキョウト	原産地名称(国内:都道府県名、輸入:輸入国略称) カナ表記	X(20)		選択
66		原産地名(漢字)	東京都	原産地名称(国内:都道府県名、輸入:輸入国略称) 漢字表記	N(10)		選択
67	賞味期限	賞味期限	20040417	商品の品質が保持できる期限	X(8)		選択
68	物流バーコードラベル関連	物流商品コード	0194912345135009	物流バーコード内の商品コードを表す AI+9+JANメーカコード(7桁、49XXXXX)+標準品名コード(5桁)+ チェックデジット	X(16)		選択
69		重量	3102001222	商品の重量(重量単位区分で指定した単位) AI+枝肉の場合:枝肉の重量 AI+ボックスミートの場合:ケースの合計重量を示す	X(10)		選択
70		製造年月日	11040318	製造した製造年月日(パッキングデート(部分肉)、と畜年月日(枝肉) など) AI+製造年月日	X(8)		選択
71		カートンID	21999112345678	カートン毎に一意に振られる番号 AI+カートンID	X(14)		選択
72		ロット番号		製造ロット番号を表す。 ロットは、品質が同一と見なせる単位や、同一の加工指示により処理 された単位のこと。 AI+ロット番号	X(22)		選択
73		枝肉番号	700299910102111130	枝肉番号、または枝肉番号に続けてカット規格番号を表す枝肉番号 は下記の14桁とする。 AI+工場番号(3桁)+枝肉番号(4桁)+左右識別(1桁)+畜種(1桁)+品種 (2桁)+原産地(2桁)+JAS区分(1桁)	X(34)		選択

## 4. 食肉個体識別番号伝達について

No	情報グループ	項目名称	記入例	項目説明	最大桁数	小数	ステータス
74	物流バーコードラベル関連	個体識別番号	2511234567895	独立行政法人家畜改良センターが管理を行う個体識別番号(ロット形成時は、任意) AI+個体識別番号	X(13)		選択
75		カット規格番号 (メーカー設定)		メーカーが設定するカット規格番号 AI+カット規格番号	X(33)		選択
76		予備識別子1		任意 企業間で利用するAI(当事者間で決定)	X(4)		選択
77		予備バーコード1		任意 企業間で利用するバーコード情報(当事者間で決定)	X(30)		選択
78		予備識別子2		任意 企業間で利用するAI(当事者間で決定)	X(4)		選択
79		予備バーコード2		任意 企業間で利用するバーコード情報(当事者間で決定)	X(30)		選択
80		予備識別子3		任意 企業間で利用するAI(当事者間で決定)	X(4)		選択
81		予備バーコード3		任意 企業間で利用するバーコード情報(当事者間で決定)	X(30)		選択
82	データ変換	データ変換区分	0000000000	任意 企業間でデータ変換が正常に行えたかを管理 (1:エラー)[企業コード、事業所コード、品名コード、納品先コード、 冷蔵庫コード～]	X(10)		選択
83	備考	備考1	小泉牧場	任意 漢字表記(当事者間で決定)	N(35)		選択
84		備考2	小沢農場	任意 漢字表記(当事者間で決定)	N(35)		選択
85		備考3		任意 漢字表記(当事者間で決定)	N(35)		選択
86	商品	ケース数	10	商品のケース数	9(6)		選択

注)No.21の「取引区分」

0 2 : 納品 (トレーサビリティ情報)	
1 2 : 出庫依頼	
1 3 : 出庫報告	
2 1 : 納品 (トレーサビリティ情報) . . . ケースラベル情報	【新設】
2 2 : 納品 (トレーサビリティ情報) . . . ピースラベル情報	【新設】
2 3 : 納品 (商取引情報)	【新設】

## Ⅱ．青果編

# 1. 商品コード解説

## (1) 商品コードの標準化の方向性

青果標準コード化に見るインストアコードから共通商品コードへの流れ

- 2007年度は汎用品を、②流通規格＋主要販売規格で標準コード化した。
- この規格に外れる属性を商品属性として外出しし、商品特定や説明ができるようにした。

	共通商品コード ←			個別商品コード
メッセージ項目名	①ソースマーキング商品	共通規格商品（汎用品）		④店舗独自規格商品
		②流通規格＋主要販売規格	③左記以外（販売規格中心）	
商品コード（GTIN）	0＋標準JANコード	—	—	—
商品コード（発注用）	0＋標準JANコード	青果標準品名コード 4922＋標準品名＋Pxx＋cd (P＝0～6)	青果標準品名コード 4922＋標準品名＋Pxx＋cd (P＝7～9)	インストアコード (2012345・・・、12345)
商品コード（取引先）	4922＋標準品名＋P00＋cd (P＝0～6)			(共通)川上・川中EDIの青果共通商品コードに一致
商品コード区分	006：GTIN－14	005：EAN/UCC－13	005：EAN/UCC－13	999：自社コード
商品属性	必要に応じて追加指定			(共通)
備考	・標準JANでソースマーキングされた 産地パック商品(ブランド品)やPB商品	・原則、商品形態(V)と階級(S)コードの 組合わせで付番 ・商品形態は汎用性、共通性が高い 流通規格を中心に、一部販売規格	・②以外の共通的な販売規格等を 必要に応じて順次整備 ・規格(xx)は品目ごとに設定 ・P＝9から付番(残りはリザーブ)	・②③以外の店舗の個 別性が高い商品や販 売規格などに使用

# 1. 商品コード解説

## (2) 商品コードと商品属性追加項目

現行、小売はインスタコードで管理。 商品名に規格や属性、産地等を含めている。

インスタコードから標準商品コードへ

標準商品コード内に商品名と通常小売で使用する規格を取り込む

標準商品コードに入らない属性は外に出して必要に応じて指定する。

### 【野菜のコード体系】

4922 + 標準品名コード + P + 規格(XX) + C/D  
(生鮮フラグ) ① ② ③

#### ① 標準品名コード(5桁)

・青果物の品目、品種を表すコード

3XXXXX: 野菜のコード体系

4XXXXX: 果実のコード体系

5XXXXX: 青果加工品のコード体系

#### ② 栽培方法区分(P)(1桁)

0: 指定なし    1: 有機農産物    2: 特別栽培農産物    3: 無袋(サン)

4: ハウスまたは温室(加温、無加温)    5: マルチ    8: 輸入

6、7: リザーブ    9: 小売業における自由使用フラグ

#### ③ 規格(2桁)

・商品形態、階級を表すコード

# 1. 商品コード解説

## (2) 商品コードと商品属性追加項目

### 小売 発注(現行～過渡期)

商品コード=12345  
商品名 = キャベツ2L(6玉)

商品コード=12346、  
商品名 =朝採り孺恋高原キャベツ

必要に応じて属性を指定

### 小売 発注(標準品名コード使用時)

商品コード=4922317000152 (キャベツ2Lを表す)  
31700=標準品名コード(キャベツ) 0=指定なし  
1=バラ売りか通常のケース発注。 5=6玉 2=cd  
商品名 =キャベツ

商品コード=4922317000152  
商品名 =キャベツ  
等級 =A、 階級=2L(6玉)  
銘柄=朝採り高原キャベツ

### もしくはブランド化

商品コード=4912345678904  
商品名 =西山さんの朝採り孺恋高原キャベツ

### 取引先 出荷

出荷時に産地等の情報が確定、  
付加される。  
その他の商品属性も必要に応じて追加

発注用と販売用商品名は別管理

# 1. 商品コード解説

## (3) 青果標準商品コードの検討方針

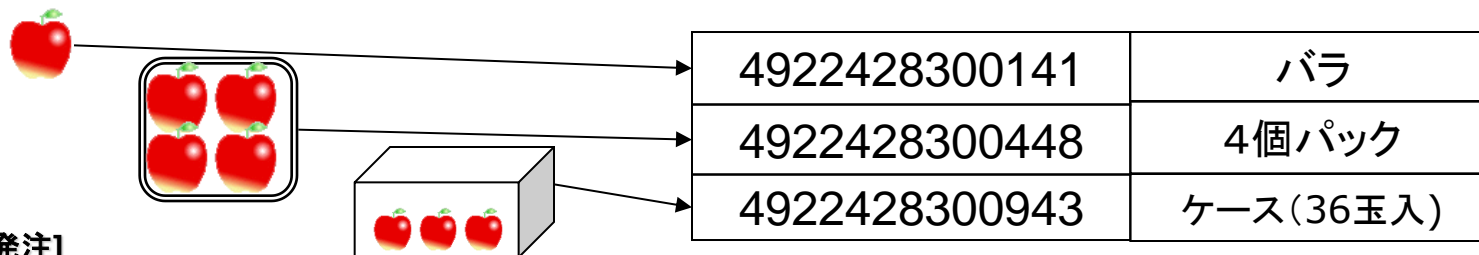
青果標準商品コードの検討にあたり、以下方針を基本とした。

- ・小売一卸／仲卸間の受発注の際に使用されるコードを対象とする。
- ・生鮮電子化推進協議会にて管理している生鮮標準コード体系を基本とする。
- ・輸入品については「栽培方法区分(P)＝6:輸入」で表現することを基本とし、不足する輸入品名について追加候補の検討を行った。
- ・標準商品コードで不足する規格などの情報は、必要に応じてメッセージの商品属性項目を利用する。
- ・品目毎に利用される商品形態、階級の組合せを抽出し、コード展開を行った。



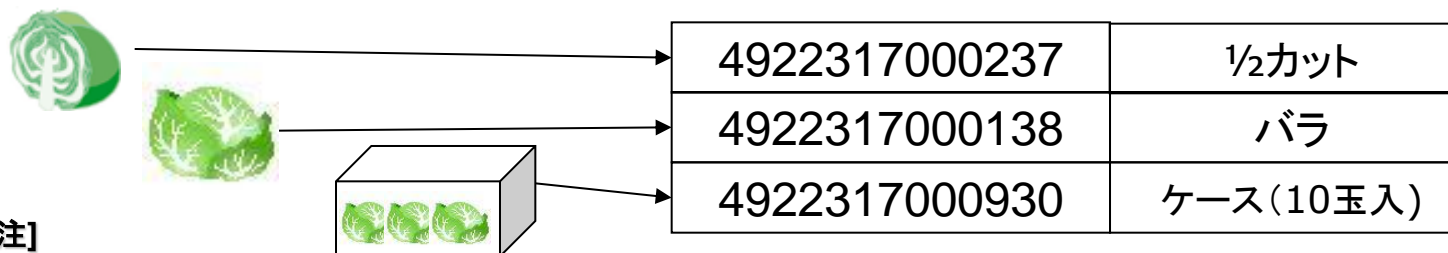
## 2. 商材別事例 項目セットの方法

### (1) 標準商品コードを活用したデータセット例



[発注]

発注商品コード	商品名	規格	原単価	売単価	発注単位	発注単位コード	発注数量 (発注単位数)	発注数量 (バラ)	原価金額	売価金額	入数	発注荷姿
4922428300141	ふじりんごバラ	バラ	100	120	36	個	1	36	3,600	4,320	36玉	ケース
4922428300448	ふじりんご4個パック	4個パック	360	400	9	個	1	9	3,240	3,600	36玉	ケース
4922428300943	ふじりんごケース	ケース	3,000	3,500	1	個	1	1	3,000	3,500	36玉	ケース

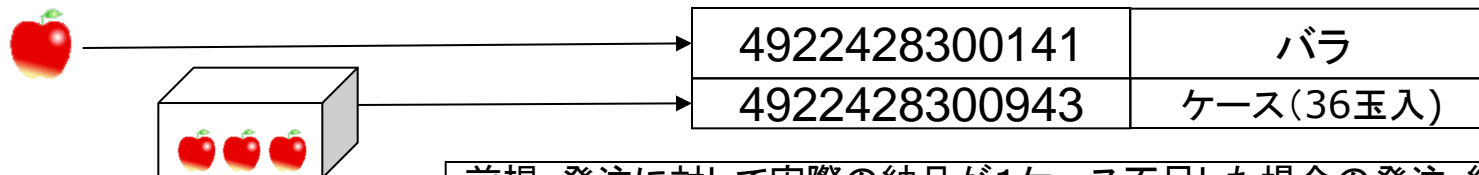


[発注]

発注商品コード	商品名	規格	原単価	売単価	発注単位	発注単位コード	発注数量 (発注単位数)	発注数量 (バラ)	原価金額	売価金額	入数	発注荷姿
4922317000237	キャベツ 1/2カット	1/2カット	100	120	20	個	5	100	10,000	12,000	10玉	ケース
4922317000138	キャベツ バラ	バラ	200	240	10	個	5	50	10,000	12,000	10玉	ケース
4922317000930	キャベツ ケース	ケース	2,000	2,400	1	個	5	5	10,000	12,000	10玉	ケース

## 2. 商材別事例 項目セットの方法

### (2) 発注～出荷～受領の流れ 1) 定貴商品



前提：発注に対して実際の納品が1ケース不足した場合の発注・納品・受領データ

#### [発注]

発注商品コード	商品名	規格	原単価	売単価	発注単位	発注単位コード	発注数量(発注単位数)	発注数量(バラ)	原価金額	売価金額	入数	発注荷姿
4922428300141	ふじりんごバラ	バラ	100	120	36	個	1	36	3,600	4,320	36玉	ケース
4922428300943	ふじりんごケース	ケース	3,000	3,500	1	個	10	10	30,000	35,000	36玉	ケース

#### [出荷]

発注商品コード	商品名	原単価	売単価	発注単位	発注単位コード	発注数量(発注単位数)	発注数量(バラ)	出荷数量(バラ)	出荷数量(発注単位数)	欠品数量(バラ)	欠品数量(発注単位数)	原価金額	売価金額	入数
4922428300141	ふじりんごバラ	100	120	36	個	1	36	36	1	0	0	3,600	4,320	36玉
4922428300943	ふじりんごケース	3000	3500	1	個	10	10	9	9	1	1	27,000	31,500	36玉

#### [受領]

発注商品コード	商品名	原単価	売単価	発注単位	発注単位コード	発注数量(発注単位数)	発注数量(バラ)	出荷数量(バラ)	出荷数量(発注単位数)	受領数量(バラ)	受領数量(発注単位数)	原価金額	売価金額	入数
4922428300141	ふじりんごバラ	100	120	36	個	1	36	36	1	36	1	3,600	4,320	36玉
4922428300943	ふじりんごケース	3000	3500	1	個	1	10	9	9	9	9	27,000	31,500	36玉

## 2. 商材別事例 項目セットの方法

### (2) 発注～出荷～受領の流れ 2) 不定貫商品



(3箱発注)

4922382000507

松茸約400g入(4～8本)

前提①: 約400g入松茸を3箱(約1.2Kg)発注した場合の発注データ  
 前提②: 実際の納品が3箱、合計重量が1.5Kgだった場合の納品データ  
 前提③: 入荷検品時の合計重量が1.5Kgだった場合の受領データ

#### [発注]

(推定)

発注商品コード	商品名	規格	原単価	売単価	発注単位	発注単位コード	発注数量 (発注単位数)	発注数量 (バラ)	原価金額	売価金額	単価登録単位	商品重量	入数	発注荷姿	発注重量
4922382000507	松茸 約400g入	木箱	50,000	60,000	1	個	3	3	60,000	72,000	1Kg	0.40Kg	4本	ケース	1.20

#### [出荷]

(再計算)

(確定)

発注商品コード	商品名	原単価	売単価	発注単位	発注単位コード	発注数量 (発注単位数)	発注数量 (バラ)	出荷数量 (発注単位数)	出荷数量 (バラ)	欠品数量 (発注単位数)	欠品数量 (バラ)	原価金額	売価金額	発注重量	出荷重量
4922382000507	松茸 約400g入	50,000	60,000	1	個	3	3	3	3	0	0	75,000	90,000	1.20	1.50

#### [受領]

(確定)

発注商品コード	商品名	原単価	売単価	発注単位	発注単位コード	発注数量 (発注単位数)	発注数量 (バラ)	出荷数量 (発注単位数)	出荷数量 (バラ)	受領数量 (発注単位数)	受領数量 (バラ)	原価金額	売価金額	発注重量	出荷重量	受領重量
4922382000507	松茸 約400g入	50,000	60,000	1	個	3	3	3	3	3	3	75,000	90,000	1.20	1.50	1.50

## 2. 商材別事例 項目セットの方法

### (3) 入数、発注数量(発注単位数)のデータセットについて

#### 例① りんごのケース発注の場合

- ・入数については、出荷荷姿(通いコンテナ、ケース)内の数量をセットする。入数が可変でありセットできないような場合はセットしない(または‘1’をセットする)。
- ・発注単位については、最低発注ロットが決められていない場合は‘1’をセットし、事前に発注ロットが取り決められている場合には、その値をセットする。
- ・発注数量(発注単位数)には、発注単位換算した発注数量をセットする。

A



1個売り場合

B



1ケース内(10kg)の入数が32玉の場合、入数=32をセットする

C



1ケース内(約10kg)の入数が確定できない場合は、入数には値をセットしない

[発注]

[出荷]

発注商品コード	商品名	不定貫区分	規格	原単価	売単価	発注単位	発注単位コード	発注数量(発注単位数)	発注数量(バラ)	原価金額	売価金額	入数	発注荷姿	出荷数量(バラ)	出荷数量(出荷荷姿数)	出荷荷姿
A 4922428300103	ふじりんご	00	32玉 バラ	150	200	1	個	32	32	4,800	6,400		ケース	32	1	ケース
B 4922428300158	ふじりんご	00	32玉 ケース	2,000	2,500	1	個	2	2	4,000	5,000	32	ケース	2	2	ケース
C 4922428300158	ふじりんご	00	10Kg ケース	2,000	2,500	3	個	1	3	6,000	7,500		ケース	3	3	ケース

事前に発注ロットの取り決めがある場合にその値をセットする。

発注単位に換算した発注数量をセットする。

ケース内の入数をセットする。可変でセットできないような場合はセットしない。

## 2. 商材別事例 項目セットの方法

### (3) 入数、発注数量(発注単位数)のデータセットについて

#### 例② いちごの発注の場合

- ・入数については、出荷荷姿(通いコンテナ、ケース)内のパック数をセットする。
- ・発注単位については、最低発注ロットが決められていない場合は1をセットし、事前に発注ロットが取り決められている場合には、その値をセットする(下記の例Eは、最低ロット5箱として取り決めされている場合の表記)。
- ・発注数量(発注単位数)には、発注単位換算した発注数量をセットする。
- ・下記の例D,Fでは、結果的に同じものが出荷されることになる。

D



1箱内4パック  
1パック=1発注単位  
20パック発注

E



1箱4パック  
1パック=1発注単位  
25パック発注

F



1箱内4パック  
4パック=1発注単位  
4×5=20パック発注

[発注]

[出荷]

発注商品コード	商品名	不定貴区分	規格	原単価	売単価	発注単位	発注単位コード	発注数量(発注単位数)	発注数量(バラ)	原価金額	売価金額	入数	発注荷姿	出荷数量(バラ)	出荷数量(出荷荷姿数)	出荷荷姿
D 49224603 20701	とちおとめ苺	00	パック	300	400	1	個	20	20	6,000	8,000	4	ケース	20	5	ケース
E 49224603 20701	とちおとめ苺	00	パック	300	400	1	個	25	25	7,500	10,000		ケース	25	7	ケース
F 49224603 20701	とちおとめ苺	00	パック	300	400	4	個	5	20	6,000	8,000	4	ケース	20	5	ケース

事前に発注ロットの取り決めがある場合にその値をセットする。

発注単位に換算した発注数量をセットする。

ケース内の入数をセットする。可変でセットできないような場合はセットしない。

### Ⅲ. 水産編

# 1. 商品コード解説

## (1) 商品コードの標準化の方向性

水産標準コード化に見るインストアコードから共通商品コードへの流れ

- 魚類等の種類を表すコード＋態様＋形状部位／加工方法で標準コード化した。
- この規格に外れる属性を商品属性として外出しし、商品特定や説明ができるようにした。

	共通商品コード ←		個別商品コード →
メッセージ項目名	①ソースマーキング商品	②共通商品(汎用品)	③店舗独自規格商品
商品コード(GTIN)	0+標準JANコード	—	—
商品コード(発注用)	0+標準JANコード	水産標準品名コード 4922+6+標準品名+態様+形状部位+C/D 4922+6+標準品名+態様+加工方法+C/D	インストアコード (2012345・・・、12345)
商品コード(取引先)	4922+6+標準品名+態様+形状部位+C/D 4922+6+標準品名+態様+加工方法+C/D		
商品コード区分	006:GTIN-14	005:EAN/UCC-13	999:自社コード
商品属性	必要に応じて追加指定		
備考	・標準JANでソースマーキングされた産地パック商品(ブランド品)やPB商品	・魚類等の種類を表すコード＋態様＋形状部位／加工方法での組合わせで付番	・②③以外の店舗の個別性が高い商品や販売規格などに使用

# 1. 商品コード解説

## (2) 商品コードと商品属性追加項目

現行、小売はインスタコードで管理。商品名に規格や属性、産地等を含めている。  
インスタコードから標準商品コードへ

標準商品コード内に商品名と通常小売で使用する規格を取り込む  
標準商品コードに入らない属性は外に出して必要に応じて指定する。

### 【生鮮品のコード体系】

4922 + 6 + 標準品名コード + 態様(T) + 形状・部位(S1S2) + C/D  
(生鮮フラグ) (水産物) ① ② ③

### 【塩蔵・塩干・加工品のコード体系】

4922 + 6 + 標準品名コード + 態様(T) + 加工方法(P1P2) + C/D  
(生鮮フラグ) (水産物) ① ② ④

#### ① 標準品名コード(4桁)

・水産物の品目、品種を表すコード

#### ② 態様(T)(1桁)

【生鮮品】 1:活 2:生鮮(チルド) 3:冷凍 4:解凍

【塩蔵・塩干・加工品】 5:常温 6:冷蔵 7:冷凍 8:解凍

9:リザーブ(生鮮品、塩蔵・塩干・加工品共通)

#### ③ 形状・部位(S1S2)(2桁) 【生鮮品】

商品の形状および部位を表す。

#### ④加工方法(P1P2)(2桁)【塩蔵・塩干・加工品】

商品の加工方法を表す。



# 1. 商品コード解説

## (2) 商品コードと商品属性追加項目

### 小売 発注(現行～過渡期)

商品コード=12345 商品名=青森産ほんまぐろロイン
商品コード=12346、 商品名=特選対馬天然ブリ刺身用

必要に応じて属性を指定

### 小売 発注(標準品名コード使用時)

商品コード=4922610112064 商品名 =ほんまぐろロイン 産地 =002:青森県 解凍区分 =00:解凍以外
商品コード=4922614411001 (ブリの丸を表す) 商品名 =ブリ 産地 =042:長崎県 用途 =刺身用

### もしくはブランド化

商品コード=4912345678904 (JAN) 商品名 =長崎対馬産□△養殖ブリ10Kg
---------------------------------------------------

### 取引先 出荷

出荷時に産地等の情報が確定、  
付加される。  
その他の商品属性も必要に応じて追加

発注用と販売用商品名は別管理

# 1. 商品コード解説

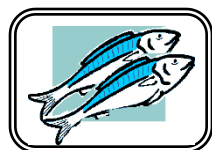
## (3) 水産物商品コードの検討方針

水産物標準商品コードの検討にあたり、以下方針を基本とした。

- ・小売一卸／仲卸間の受発注の際に使用されるコードを対象とした。
- ・生鮮電子化推進協議会にて管理している生鮮標準コード体系を基本とし、不足する品名、形状／部位、加工方法について検討した。
- ・標準品名として優先する属性は「態様、形状部位、加工方法」とした。
- ・輸入品については、メッセージ項目の「国コード」、「原産エリア」を使用して表現する。
- ・標準商品コードで不足する規格などの情報は、必要に応じてメッセージの商品属性項目を利用する。
- ・品名毎に利用される形状／部位、加工方法を抽出し、コード展開を実施した。
- ・加工品で一部JANコードが設定されていないものが存在する。その対応として加工品の代表的な分類、品名について設定を行った。

## 2. 商材別事例 項目セットの方法

### (1) 発注～出荷～受領の流れ 1) 定貴商品



4922613112009

あじ

※ケース単位発注

4922613115178

あじ開干し

※パック単位発注

前提①: あじ(トロ箱)を3箱、あじ開干し(2尾)を20パック発注した場合

前提②: 実際の出荷があじ(トロ箱)が3箱、あじ開干し19パックだった場合

#### [発注]

発注商品コード	商品名	規格	原単価	売単価	発注単位	発注単位コード	発注数量 (発注単位数)	発注数量 (バラ)	原価 金額	売価 金額	入数	発注 荷姿
4922613112009	あじ	トロ箱	2,400	3,360	1	個	3	3	7,200	10,080	20尾	ケース
4922613115178	あじ開干し	2尾パック	100	140	1	個	20	20	2,000	2,800	20パック	パック

#### [出荷]

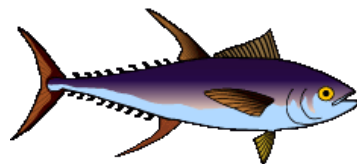
発注商品コード	商品名	原単価	売単価	発注単位	発注単位コード	発注数量 (発注単位数)	発注数量 (バラ)	出荷数量 (バラ)	出荷数量 (発注単位数)	欠品数量 (バラ)	欠品数量 (発注単位数)	原価 金額	売価 金額	入数
4922613112009	あじ	2,400	3,360	1	個	3	3	3	3	0	0	7,200	10,080	20尾
4922613115178	あじ開干し	100	140	1	個	20	20	19	19	1	1	1,900	2,660	20パック

#### [受領]

発注商品コード	商品名	原単価	売単価	発注単位	発注単位コード	発注数量 (発注単位数)	発注数量 (バラ)	出荷数量 (バラ)	出荷数量 (発注単位数)	受領数量 (バラ)	受領数量 (発注単位数)	原価 金額	売価 金額	入数
4922613112009	あじ	2,400	3,360	1	個	3	3	3	3	3	3	7,200	10,080	20尾
4922613115178	あじ開干し	100	140	1	個	20	20	19	19	19	19	1,900	2,660	20パック

## 2. 商材別事例 項目セットの方法

### (1)発注～出荷～受領の流れ 2)不定貫商品



4922610112002

ほんまぐろ

前提①: 約100Kgのほんまぐろを1尾発注した場合の発注データ

前提②: 実際の納品が1尾95Kgだった場合の出荷データ

前提③: 入荷検品時の合計重量が1尾90Kgだった場合の受領データ

#### [発注]

(推定)

発注商品コード	商品名	規格	原単価	売単価	発注単位	発注単位コード	発注数量 (発注単位数)	発注数量 (バラ)	原価金額	売価金額	単価登録単位	商品重量	入数	発注荷姿	発注重量
4922610112002	ほんまぐろ	1尾	1,000	1,500	1	個	1	1	100,000	150,000	1Kg	100Kg	1	1尾	100.00

#### [出荷]

(再計算)

(確定)

発注商品コード	商品名	原単価	売単価	発注単位	発注単位コード	発注数量 (発注単位数)	発注数量 (バラ)	出荷数量(発注単位数)	出荷数量 (バラ)	欠品数量(発注単位数)	欠品数量 (バラ)	原価金額	売価金額	発注重量	出荷重量
4922610112002	ほんまぐろ	1,000	1,500	1	個	1	1	1	1	0	0	95,000	142,500	100.00	95.00

#### [受領]

(確定)

発注商品コード	商品名	原単価	売単価	発注単位	発注単位コード	発注数量 (発注単位数)	発注数量 (バラ)	出荷数量 (発注単位数)	出荷数量 (バラ)	受領数量 (発注単位数)	受領数量 (バラ)	原価金額	売価金額	発注重量	出荷重量	受領重量
4922610112002	ほんまぐろ	1,000	1,500	1	個	1	1	1	1	1	1	90,000	135,000	100.00	95.00	90.00

## 2. 商材別事例 項目セットの方法

### (2) 入数、発注数量(発注単位数)のデータセットについて

#### ① 定貫商品の例

- ・入数については、出荷荷姿(ケース)内の数量をセットする。入数が可変でありセットできないような場合はセットしない(または‘1’をセットする)。
- ・発注単位については、最低発注ロットが決められていない場合は‘1’をセットし、事前に発注ロットが取り決められている場合には、その値をセットする。
- ・発注数量(発注単位数)には、発注単位換算した発注数量をセットする。
- ・下記の例A,B,Cでは、結果的に同じものが出荷されることになる。

発注数量(バラ) = 発注単位 × 発注数量(発注単位数)。

A



1ケース内20尾入  
1尾＝発注単位  
20尾発注

B



1ケース内20尾入  
5尾＝発注単位  
20尾発注

C



1ケース内20尾入  
1ケース＝発注単位  
20尾発注

[発注]

[出荷]

発注商品コード	商品名	規格	不定貫区分	原単価	売単価	発注単位	発注単位コード	発注数量(発注単位数)	発注数量(バラ)	原価金額	売価金額	入数	発注荷姿	出荷数量(バラ)	出荷数量(出荷荷姿数)	出荷荷姿
A 4922613112009	あじ	1尾	00	100	140	1	尾	20	20	2,000	2,800	20	ケース	20	1	ケース
B 4922613112009	あじ	1尾	00	100	140	5	個	4	20	2,000	2,800	20	ケース	20	4	ケース
C 4922613112009	あじ	ケース	00	2,000	2,800	1	個	1	1	2,000	2,800	20	ケース	1	1	ケース

事前に発注ロットの取り決めがある場合にその値をセットする。

発注単位に換算した発注数量をセットする。

ケース内の入数をセットする。可変でセットできないような場合はセットしない。

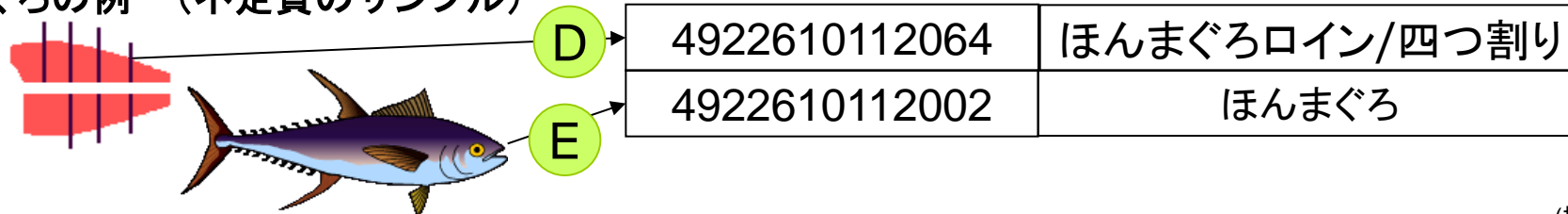
## 2. 商材別事例 項目セットの方法

### (2) 入数、発注数量(発注単位数)のデータセットについて

#### ② 不定貫商品の例

- ・入数については、出荷荷姿(ケース)内の数量をセットする。入数が可変でありセットできないような場合はセットしない(または‘1’をセットする)。
- ・発注単位については、最低発注ロットが決められていない場合は‘1’をセットし、事前に発注ロットが取り決められている場合には、その値をセットする。
- ・発注数量(発注単位数)には、発注単位換算した発注数量をセットする。

#### □まぐろの例 (不定貫のサンプル)



#### [発注]

発注商品コード	商品名	規格	不定貫区分	原単価	売単価	発注単位	発注単位コード	発注数量(発注単位数)	発注数量(バラ)	原価金額	売価金額	単価登録単位	商品重量	入数	発注荷姿	発注重量
D 4922610112064	ほんまぐろロイン/四つ割り	ロイン 約25kg	01	1,000	1,500	1	個	4	4	100,000	150,000	1kg	25	4	ケース	100.00
E 4922610112002	ほんまぐろ	1尾	01	1,000	1,500	1	個	1	1	100,000	150,000	1kg	100		尾	100.00

事前に発注ロットの取り決めがある場合にその値をセットする。

発注単位に換算した発注数量をセットする。

ケース内の入数をセットする。可変でセットできないような場合はセットしない。

#### [出荷]

出荷数量(発注単位数)	出荷数量(バラ)	出荷数量(出荷荷姿数)	出荷荷姿	出荷重量
4	4	2	ケース	95
1	1	1	ケース	95

